

平成 26 年 3 月 1 1 日
(平成 26 年 5 月 2 7 日改訂)

各位

協同組合 日本飼料工業会

豚流行性下痢 (PED) に関する対応方針について

現在、豚流行性下痢 (PED) が沖縄県、茨城県、鹿児島県、宮崎県、熊本県、愛知県、青森県、高知県、岡山県、鳥取県、佐賀県、大分県、福岡県、千葉県、埼玉県、長崎県、三重県、香川県、愛媛県、栃木県、群馬県、新潟県、静岡県、福島県、富山県、石川県、山形県、北海道、岐阜県、福井県、岩手県、秋田県、宮城県、神奈川県、長野県、広島県、徳島県、山梨県 (計 38 道県) で発生しており、依然として感染事例が確認されています (疑いは含まず)。

*最新の確定事例は農水省HPをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/ped/ped.html>

豚流行性下痢 (PED) のウイルスはヒトには感染しませんが、子豚が感染した場合、極めて致死率が高く、影響が大きいことから、日本飼料工業会組合員は、飼料運搬車両等の消毒強化を周知徹底し、発生予防、蔓延防止に努めております。

なお、PED ウイルスの拡散は、米国産血しょうたん白を使用した配合飼料が関与しているのではないかと、という懸念が一部にあったようです。

この件について、カナダ食品検査庁 (CFIA) は 3 月 3 日付で、PED ウイルスの遺伝子が混入している米国産豚血しょうたん白と PED の関連は確認できていない、との声明を発表しました。

<http://www.inspection.gc.ca/animals/terrestrial-animals/diseases/other-diseases/ped/2014-03-03/eng/1393891410882/1393891411866>

また、農林水産省消費・安全局動物衛生課は、(独)動物衛生研究所が実施した感染試験 (バイオアッセイ) の結果、「米国産豚血しょう中に感染能を有する PED ウイルスは確認されなかったこと等現時点で得られている科学的知見では、米国産豚血しょうたん白が PED の感染源となるリスクは無視できるものと考えられる」(平成 26 年 5 月 23 日更新) との見解を示しています。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/ped/pdf/ped_world.pdf

同様に、日本飼料工業会は、米国産血しょうたん白の現在庫品を対象にサーベイランスを実施しましたが、現在まで問題となる事例は認められておりません。

さらに、日本では、米国の APC 社（農林水産大臣による確認済み工場）製造の豚血しょうたん白だけが輸入流通していますが、APC 社は、バイオアッセイ試験などの結果を踏まえ、PED ウイルスの感染能を消失させるための適切な処置を行った上で日本に輸出しています。

ちなみに、APC社による試験によれば、PCR 陽性サンプルを豚に給与したとしても豚は感染しないことが確かめられており、万が一、PCR 陽性の豚血しょうたん白が使用されたとしても豚が PED に感染する可能性はないと考えられています。

<http://www.functionalproteins.com/documents/news/21.pdf>

しかしながら、今般の PED の感染拡大がなかなか終息しないことから、感染拡大の原因を「動物由来たん白質」や「動物性油脂」（以下、「動物由来たん白質」等）に求める見解もあるようです。しかし、「動物由来たん白質」は農林水産大臣の確認を行うための方法が定められており、この確認を受けた工場だけが製造を許可されています。

* 「飼料及び飼料添加物の成分規格等の省令の規定に基づく動物由来たん白質及び動物性油脂の農林水産大臣の確認手続きについて」（平成 17 年 3 月 11 日 16 消安第 9574 号） https://www.famic.go.jp/ffis/feed/tuti/16_9574.html

確認工場の製造工程は、原料の搬入から出荷まで安全管理が徹底され、かつ加熱工程を経ていることから、基本的に「動物由来たん白質」等の原料が感染原因となる可能性はないと考えられます。

* 例えば、ポークミールの製造工程は、おおよそ 120℃、30 分以上で加熱処理されているため、ウイルスは PED に限らず死滅しますが、これらの工程はすべて農林水産大臣により確認されています。

日本飼料工業会は、引き続き PED に関する情報収集に努め、豚血しょうたん白等の飼料原料に対する監視を続けてまいります。

以上

お問い合わせ先：協同組合 日本飼料工業会業務部 担当：加藤・石川（TEL：03-3583-8031）